

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2015年8月1日 143号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 堤防建設へのご支援に感謝いたします。



レダ基地中心部を取り囲む堤防。南側境界付近より、上流方向を望む。右はパラグアイ川本流。(6月20日撮影)



公館より完成した堤防とゲストハウスを望む(6月25日撮影)

**パンタナールの洪水対策、レダ基地堤防竣工!**

去る五月九日に始まった、レダ基地の堤防建設工事が完了しました。基地からラタイ牧場を経由して国道方面に通じる道路の一部をかさ上げする工事も完了し、六月二十日には建設業者がすべての資材と人材を引き上げて行きました。中田所長は、「基地を囲む堤防の完成によって、パンタナール開発プロジェクトを守る砦が出来上がった」と、その喜びと今後の活動への決意を語りました。堤防建設のためにご支援をお寄せくださった皆様に、心より御礼申し上げます。この堤防工事は、水位があまり上がっていない時期で、そして降水量が比較的少ない時期を見計らって行わなければならず、昨年よりその工事の機会を待ち続けて来ました。そして本年五月八日のパクー稚魚放流式典と合わせるようにやって来た工事の好機を捉え、24時間体制で工事を開始。途中雨で一週間の中斷があったものの、水位や気象などの自然条件に恵まれ、工事は予想以上に順調な進捗を見ました。そして竣工直後から再び大雨が続いていますが、これを見ても堤防建設工事を短期間に完了し得たことは、奇跡に近かつたと言えるでしょう。

現在、堤防の法面を補強するための芝草を張る作業と、基地内における排水溝の整備工事をしています。芝は堤防を風雨から保護し、排水機構は堤防の内側に降った雨水を堤防外に適切に排出するために不可欠のインフラです。(二面につづく)

## たゆみなきチャレンジ（一面より続く）

水対策としての堤防が完成した今、レダ基地の恒久的インフラの整備をはじめ、さらなる新たな課題に向けてたゆまない挑戦が続いています。皆様より、これからも変わらないご支援をいただけますよう、懇切にお願い致します。



公館表階段より、堤防の向こうにリアチョ（支流）を望む。（6月25日）



堤防の天面を水平に均す中田所長。（6月21日）



堤防のメンテナンスの構想を練る上山氏。（6月29日）



レダ基地から豚ランドに通じる道路。（6月22日）



法面に張られた芝草。正面は第二ゲストハウス。（6月21日）



本流より、レダ基地を望む。（6月20日）



溝を造る作業。右にレダ基地の中央道路。（6月29日）

世界十一ヶ国から来た青年ボランティア

七月九日、世界十一ヶ国の若者からなる国際ボランティアチームがレダ基地に到着しました。三十名の青年ボランティアと七名のスタッフから成る一行は、米国ニューヨークに国際事務局を置くU.P.F.(Universal Peace Federation)が企画し、全世界から募集した国際色豊かなチーム。アスンションからの移動では、雨天の影響でチャコの道路が使えず、急遽チャーターミューダに入り、十日からエスペランサで活動を始めました。皆とても仲がよく、積極的にプログラムに取り組みました。エスペランサの子供たちとも、すぐに友達になつて、共に学校の修理作業を行い、ゲームやスポーツで交流していました。チームには楽器の弾ける人や演劇を学んでいる人もいて、楽しい雰囲気です。エスペランサ村の環境の中で、子供たちの純粋な世界に感動して、体験した世界が大きいと言っています。校長先生もお別れの式典で、心のこもった感謝の文を披露してくれ、エスペランサ村と私たちの関係がより深まつたと感じました。



## エスペランサの子供たちとボランティア隊



ペンキ塗りで校舎の壁がまたきれいに

## 連載インタビュー（第9回）

# *Amo Leda!*



パブロ・アルガーニャ  
Pablo Argaña  
エスペランサ学校長（44歳）  
2人の子供（16歳と19歳の男）

が208名です。今年から高等部が誕生しました

Q. 23年間学校の発展の生き証人ですね！

**A.** そのインフラの大部分をしてくれたのがレダの財団の皆様です。2002年には教室の階下の部分の床にセメントを張って教室として使えるようにしてくれました。2004年には3教室ある建物を建造してくれました。青年奉仕隊がくるごとにインフラを改良してくださいました。今回は、食堂を含む学校の周囲の柵を完成して下さり、学校がとても見栄えの良いどこにでも誇れる立派なものとなりました。教育が重要だと思う我々教師の心情と同じ心情を皆様がもっておられ、他の人を助けようとする皆様の心情が源となつていろいろ支援してくださることに心から感謝しております。（インタビュー：佐野）



## 開墾の体験で藪に挑戦



## 豚ランドにて

地内の諸施設を  
乳をしぶり、馬  
とも交流しまし  
た。開拓追体  
験として、藪  
の伐採作業で  
は、木のトゲ  
では血を流しな  
がらも、必死  
で頑張つてい  
る姿は頼もし  
いものでした。  
一行は、七  
月二十一日に  
首都アスンシ  
オンからそれ  
ぞれ帰国の途  
に就きます。  
(次号にこの記  
事の続報を掲載  
します。伊達記)



## 参加者の質問に答える雨宮教授

**研究会を開催**

巾の「てくのかわさき」会  
一回環境問題研究会を開催  
雨宮慶幸東京大学大学院教  
サイエンスと環境・エネル  
30名が参加しました。

は？光とは？②放射X線科  
続、先端科学技術の話を  
分かり易く説明されました。  
た。庄巻は理化学研究所  
の大型放射光設備 Spring  
とSACLAの紹介。「道具  
のイノベーション」がつ  
くる未来社会を明るく感  
じました。雨宮教授は、  
豊かに生き生きと生きる  
心の姿勢は、「好奇心・  
感動・使命感」であると、  
日頃学生たちに告げてい  
ることです。（小田記）

第十一回環境問題研究会を開催



# 第十五回国際協力青年奉仕隊派遣のため、 ご支援をお願い致します！

本年も未来の社会を背負つて立つ青年リーダーシップの育成を目指し、国際協力青年奉仕隊を派遣いたします。そのため、皆様が使い残された、はがき、年賀はがき、書き損じはがき、未使用の切手などを集めています。送り先は下記の当会事務局あてお願いします。また支援金も感謝してお受けいたします。

支援金送り先＝郵便口座 記号 一〇二八〇

番号 六一三四九七五一 南北米福地開発協会

奉仕隊は八月二十五日に出発します。

奉仕隊への参加には、全国から二〇名を越える応募がありました。すばらしい意欲と素養の持ち主が多く、事務局スタッフ一同、未来に希望を感じさせられました。七月初め、チーム編成のために、十二名の青年を選抜しました。来る八月二十五日より、九月十日まで、チヤコ地方バイア・ネグラに派遣し、奉仕活動を行います。



2005.09.02



植樹のため川から水を運ぶ。

「今まで学校がなかった。学校に行ってありがとうございました。今まで教科書が届かなかった。届けてくれてありがとうございます。奉仕隊の皆さん、本当にありがとうございます。」（村民の挨拶より）

奉仕隊はインディヘナ村の学生たちと、校舎の修復やベンキ塗りを、また環境整備で、校庭や町に街路樹を植えて汗を流します。子供たちには学用品や教科書、教材等を贈っています。

二〇一三年、ディアナ小学校に贈呈した机と椅子。校舎は二〇〇三年に学校から直接の請願を受けて、当会が建築、贈呈。日米の青年奉仕隊が基礎工事に勤労奉仕した。



Diana 2013

## 一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821  
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

メールアドレスが変わりました！

(新) Eメール: office@asd-nsa.com

(新) ホームページ: <http://asd-nsa.com>

## 会員種別

♠会員一口1000円／月 ※口数は申込者が申告

♠特別会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

♠法人会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 00290-5-113072

加入者名：(シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。  
また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.pdf>

Word形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.docx>